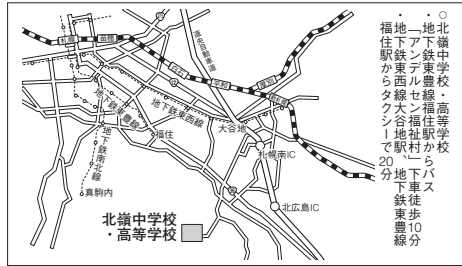


ほく れい 北嶺中学校・高等学校

〒004-0839 北海道札幌市清田区真栄448-1 ☎011-883-4651 学校長 谷地田 穰



〈URL〉 <https://www.kibou.ac.jp/hokurei/>

沿革 昭和61年(1986)北嶺中学校開校。平成元年(1989)北嶺高等学校開校。令和7年(2025)、開校40周年。

校風・教育方針

創立の理念「だれもが夢を描いて、常に高きに登ろうとすれば、道は必ず拓ける」に基づき、「めざすなら高い嶺」を校訓としています。中高一貫を生かした独自のカリキュラム、少人数教育が特徴です。教育目標は「未来を洞察し、開拓しうる高い知性と教養を養う」「誠実で敬虔な心情を培い、真理を求める態度を養う」「豊かな情操を培い、おらかな人間性を養う」「優れた体力と気力あふれる精神を養う」「己に偏せず、広い視野から社会に貢献できる人間性を育てる」の5つ。将来、日本はもちろん、世界で社会のために献身的に貢献できるリーダーの育成をめざしています。

カリキュラムの特色

週6日間毎日授業があります。難関大学に合格することのできるゆるぎない「基礎学力」の獲得と、英語力の向上、グローバル教育、たくましい精神の涵養を教育の柱に据えています。

中学1、2年では、知識が増していく楽しさを味わいながら、基本的な学習姿勢を身につけます。国語力や表現力を育むための読書習慣や、小テスト等で毎日の学習成果を確認するなど学習習慣を養います。2年間で中学の学習内容を終えますが、授業の進度が公立中学校よりも速いわけではありません。主要5科目の時間数が公立中学校に比べ

今年の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください



て約1.6倍と多く、ゆっくりとした授業で内容の濃い学習を進めていきます。

中学3年、高校1年は、進路選択に向けて自分の適性を理解する時期としています。学習の基礎を身につけるだけでなく、将来にどう結びつけるのかを考えながら学習に取り組みます。職業・進路指導なども本格化し、自分の適性を見極め、めざす将来像を固めていきます。また、英検は高校1年生の海外修学旅行までに、準2級・2級に合格することを目標に掲げ、高い合格率を残しています。

高校2年では、共通テストの基本教科である英語・数学・国語で高校の学習内容を終え、選択科目の物理・化学・生物や地理・歴史・公民などは高校3年で学び終えます。高校1年以降は、習熟度や志望校に応じて細分化された授業・講習が開講され、実践的な学力を伸ばしていきます。

仲間との励まし合い、先生方の手厚い学習サポート、開校以来授業で必修のラグビー・柔道や毎年実施する登山で得た強い精神力により、現役での難関大学合格をめざしています。6年一貫カリキュラムの完成度は高く、大学進学という結果を通じて証明されています。

英語教育・国際理解教育

授業で学んだ英語の4技能(聴く・読む・話す・書く)の習熟を確認するために、英検やTOEFL[®]、TOEIC[®]などの英語能力テストに挑戦します。

また、深い見識と広い視野、先を読む洞察力を備え、グローバルな視点から世界をより良く変え

3学期制 登校時刻 8:30 屋食 食堂 土曜日 授業

ていく革新的な力を備えた人材養成をめざす「Gプロジェクト」を実施しています。その一環として、高校1年生の修学旅行ではハーバード大学における「グローバルリーダー養成プログラム」、ニューヨークでは国連研修など、多彩なプログラムを受講します。実践的な英語能力を高めるために、外国人講師による英会話・国際理解学習を実施。中学3年生の奈良・京都修学旅行は京都大の外国人留学生と交流します。

環境・施設設備

大自然に囲まれた広大な敷地に、充実した学習・運動施設を整えています。教室にはエアコンを完備し、静かな環境の中で落ち着いた授業が開講されます。

寮生活

難関大学への進学をめざし、高い志を持つ若者達の夢をかなえるために青雲寮コースを設けています。放課後の学習時間は前半19時~21時、後半21時30分~23時で、中学生は学習室の個別ブース、高校生は各自の部屋で学習します。夜間講習や個別指導、チューター制度など特別学習のプログラム

も用意されています。2021年に新寮棟が増設され、より快適な学習・生活環境が整備されました。寮生は学級担任のほか、寮生担任、寮母・寮監などたくさんの先生に見守られ、安心して6年間を過ごすことができます。

学校行事・クラブ活動

6月に、中学1年から高校2年まで、学年が上がるにつれて難易度の高い山に挑戦する全校登山を行います。「校技」のラグビーは10月に、柔道は11月に校内大会を実施。こうした行事を通して、たくましい精神を養い、技術だけでなく相手を敬う精神・協調性の大切さを学び取ります。Gプロジェクトでは、海外修学旅行(高校1年3月)のほか、北嶺ハーバードキャンプ(中学3年・高校1年1月)、ニュージーランドへの語学研修・ホームステイ(8月)などを実施します。

クラブ活動は、体育系が柔道、ラグビー、卓球、テニス、野球、サッカーなど10部、文化系は美術工芸、囲碁将棋、科学、数楽、ディベートなど10部があります。このほか2016年から公認団体として、鉄道研究会、ロボット研究会、パソコン研究会などが活動しています。

データファイル

■2025年度入試日程

中学校	試験会場は北海道・仙台・東京・名古屋・大阪				
募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日	
120	Web11/22~12/23	1/8	1/11	1/24※	

受験区分は「専願」「併願A」「併願B」。北海道・仙台は「専願」「併願」「帰国生(札幌のみ)」定員のうち青雲寮コースは60人、特待選抜は20人※専願者および北海道・仙台会場受験者は1/13。東京・名古屋会場の特待選抜合格者は2/7

【高等学校】 募集を行っていません

■2025年度選考方法・入試科目

【中学校】
国語、算数、理科、社会
〈配点・時間〉国・算＝各120点60分 理・社＝各80点40分

※大阪会場受験者は国語、算数、理科で受験可。
3教科型は得点を1.25倍し400点に換算

■指定校推薦枠のある主な大学

慶應義塾大 早稲田大 東京理科大 中央大 学習院大 芝浦工業大 東京都市大 北里大 獨協医科大 同志社大 関西学院大ほか

■2024年春卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
117人	71人	0人	0人	0人	0人	46人

■2024年度入試結果

【中学校】					
募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率	
120 (東京会場/内数)	1,303	1,269 (220)	1,044 (167)	1.2 (1.3)	

▼▼入試アドバイス・学校からのメッセージ

2023年度入試より、「特待選抜入試」を実施。合格した場合、入学金・授業料の免除および「奨励金(1万円/月)」が給付される特待生として入学できます(奨励金は返還不要)。一般入試と同一日・同内容の入試問題となります。

【学校説明会】 ※すべてHPから完全予約
オープンスクール(校内) 10/12

横浜学校説明会 11/30

東京学校説明会 9/29 12/1

【見学できる行事】
文化祭 7/20・7/21

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください